



## 2. 調査結果について

### (10)その他

※ここでは、以下のようなことがわかります

- ・町内会の良いところや自慢、行政に伝えたいこと 等

## 2. 調査結果について

〈問35〉あなたの町内会の良いところや自慢など、この機会に行政に伝えたいことを教えてください。

### (1) 十和田市 (1 / 3) ※回答数「45組織 / 158組織中」

- 今のまま特に何も。
- 町内会だけで決めないで各団体(組織)に決めさせ、決まったら報告する事。農協関係、福祉関係、その他の会員で決める。
- 住宅地域のため、夜などは特に静かです。(自慢)地域道路、側溝整備に市は30~40年もかかっている。(予算が無いとのこと)(困っていること)この先人口は増々減少していく事ならば、小さな町づくりを目指していく必要がある。そのためこれから住宅を建てる人は、一定の制限地域に集まる様な事を考えていく必要があると考えます。集中的(集团的)町づくりを目指すべきと考えます。
- なし
- 会員相互仲よし生活していると思う。古い町内会で若い人が少ない。
- 町内会でのいざこざが少なく、まとまりがあるほうだと思う。
- 只々自然に恵まれた環境のいい所です。ここに住んでいたら、どこにも行って住もうとは思いません。皆さんも老後、この辺と一緒に住みませんか？
- 町内会行事等参加者が多い。総会には70%参加です。
- 毎月の広報を会長自身が各班長に渡しています。特に冬はよろこばれます。また会員の顔も全部わかってきました。
- 会員のまとまりもありますし、皆積極的に行事へ参加してくれています。ただ、若者が都会へ進学し、そのまま都会で就職をしてしまい、地元へリターンするにも、給料の差や職種の少なさがネックとなっていて、地元へ残っている若い世代も土日も就労するような職種などで地域へ目を向けたり、家を守り継いでいく意識が持てない状況です！若い世代が都会や大学なりで、身につけて知識を活かせる職場(企業)を青森県(十和田●町内会内地域)に多くしたり、また昔のように主食の米が高く、長男は家と土地を守り、地域を支えて、町内のコミュニティーを支えてきていたように、兼業の農家のように(会社員は格差無い給料)職場と農業なりの合算の収入で何とか生活ができるし、家も建て、結婚し、子供を育てていけるようにすれば、若い世代はこの青森でくらししていきたいと考えるのではないかと思います。このアンケートはとても良いデータがとれると思いますが、できれば青森県出身者で、地域へ戻らず、都会で就職した者へ同様のアンケートをしてみたらどうでしょうか。
- ①町内会報発行12 6年目(毎月)。②ゴミの分別問題、出し方が他町内会より良い。③役員全員の協力、連携が良い。
- 独自の広報「●●●便り」を月1回発行していること。
- 特にありません。
- 特になし。
- 古い県営住宅を→十和田市の新しい住宅にしてほしい。
- 市道・農道の草刈を会長が安い報酬で年2回行って居ます。
- 町内会に保育園が有る事。
- 行政の力を取り入れ、町内会の必要を訴え、皆で協議して住み良い地域にすることを県も支援して頂きたい。

## 2. 調査結果について

### (10)その他

〈問35〉 あなたの町内会の良いところや自慢など、この機会に行政に伝えたいことを教えてください。

### (1) 十和田市 (2 / 3) ※回答数「45組織 / 158組織中」

- 町内会は皆、昔からの人達なので、コロナ禍の中でも若い人達は団結もあり、祭りも去年は小さく作製してとても子達も喜んでいました。ですので町内のも協力してくれています。
- 私達の町内会には80才代の方は2人で、70才代が3人で暮らしています。合計で5人です。
- 当集落の神社境内の片隅に、樹齢百年を越すと思われる極めて珍しいけやきと杉が合体した樹木があります。いつの頃からか、縁結びの神木として祭られている。まずは必見！！
- 特に何も無い普通です。
- 特になし。
- 町内会員世帯数が多いため、きめこまやかに回覧板等で会員に周知。徹底を図っている。
- 8世帯なので連絡、相談が出来やすい。問題がすぐにかいけつする。
- 結束力がある部落です。
- 当町内会は純農村地域で小さな集落であるが、農業後継者も多く若者が町内会の活動に積極的に参加して町内会活動を盛り上げてくれている。(盆踊り大会、八幡宮例大祭、通学路等の草刈作業等) また、郷土芸能である「駒踊り」も継承し、地域の文化に積極的に取り組んでいる。今後、少子高齢化で町内会がどのように変わっていくのか心配なところもあるが、若者の意見、要望を取り入れながら活性化させ明るく住んで良かった活動を展開していきたい。
- 特になし
- 1.新山神社での学童による奉納相撲 2.敬老会の実施 3.名水保全
- みんなで協力、共同して運営している。
- 1.町内会活動の方針 西北園町内に居住する会員の願いである、「安心、安全そして快適な暮らし」を実現するため、会員相互が協和して生活環境の向上、高齢会員への支援、防犯対策等に関わる町内会活動の喚起・奨励に務める。 2.今年度の活動の重点～向こう三軒両隣の心を大切にしよう～①高齢会員への見守り活動(自助から互助へ) ②あいさつ運動(防犯と子どもの健全育成) ③町内会だよりの発行(情報の共有)
- 我が町内会は少子高齢がそのままの町内会です。26世帯約90人の町会ですが、農業の部落でとまかく明るい年寄の散歩がうるさい位、あかるい元気な笑い声(子供・年寄)がいつもある。
- 町内会とシニアクラブ(老人クラブ)が協力して活動している。今後も情報交換しながらやって行く。その為にも活動に対する予算等は継続してほしい。
- ほぼ全数加入している為、親睦会等を開催している。
- 上の人からいろいろおしえてもらえる。
- 子供は少ないがやんちゃで明るく、老人会はグランドゴルフやゲームなどの活動が盛んである。集会所は常に開放され、老人会の娯楽や趣味の場となり、集会所に行けば人が居る環境創りに力を入れています。

## 2. 調査結果について

### (10)その他

〈問35〉あなたの町内会の良いところや自慢など、この機会に行政に伝えたいことを教えてください。

### (1) 十和田市 (3 / 3) ※回答数「45組織 / 158組織中」

- 当町内会は災害等が無い地域ですので防災等にあまり意見が無い状況で、生活は大変しやすい所でもあります。出来ましたら、活動につなげる計画とか他の地区の状況等を提案してほしいですが？
- 周りの大きい町内の方々へお願いしています。
- 皆、活動には協力してくれてるので大変有がたいと思います。
- 昔から町内に住んでいて9割5分以上が町内会員で顔見しりが多い。
- 街灯の電気料金や交通安全母の会等の会費を町内会費から支払う事に全面的に協力してくれている。また、作業奉仕等は全員参加してくれている。
- 町内会員も役員、班長も皆積極的でコロナの前はバス旅行、懇親会など参加者も多く●●●町内会でも一番活動的と思う。次の役員を担う世代への(今の40代、50代)引き継ぎが課題です。
- 1.毎月1回会員へ情報伝達のため手作りの「町内会報」を発行している。今年度で17年目を迎えた。(継続は力なり) 2.毎年10万円を予算化して「儉約」に努めている。28年前分離独立した町内会であるため、集会所がなく行事を行う場所もない。諸会議や町内会行事は全て借用施設や土地で行っている。町内会独自の施設(集会所)や土地を持つためである。(チリも積れば山となる)
- 宝クジ・原燃・競馬協会等の町内会等で活用できる補助事業の一覧表があれば活用したい。
- 小さい集落ですので、まとまり、協力体制が良い。

## 2. 調査結果について

<問35> あなたの町内会の良いところや自慢など、この機会に行政に伝えたいことを教えてください。

### (2) 三沢市 ※回答数「18組織／59組織中」

- ①市内で唯一小中学校の春休み、夏休み、冬休み期間中夜間パトロールを行っている。（現在コロナ禍で中止）②小さい町内会だが毎年夏祭りにだしを作成し参加している。
- 世帯数が少ない為（高齢）で淡々と行事をこなしている。年2回のクリーン作戦、役員選挙、総会等。世帯数21世帯（入会20世帯）
- 小さな町内会なので横の連絡が密。
- 7月小旅行、8月バーベキュー大会、12月餅つき大会等、参加料なしで会員は楽しんでいます。
- 祭り活動に青年部が積極的に参加してくれること。役員にも入ってくれて、活動も積極的に推進してくれること。
- 行事を多く実施する（年20件）・継続を目的に農園活動を取り入れている。・公報「風だより」を発行
- 役員が協力的である。
- 集会所を趣味や娯楽をして楽しめるよう開放している。・マーじゃん、トランプ（五人カン）等の楽しめる大会の場をつくっている。ただし、コロナ菌対応で出来ずにいることが残念。
- 私達の居る桜町団地（集合住宅）は近代建築の為、災害に対して（地震・津波等）には強く、皆には火災に対する事に気を付ける様に話してます。高齢者が
- 多いので地震の時に慌てないで居る事、慌てて歩けば転んで転倒する事の方があぶないので常に気を付ける様に云って居ります。すばらしい住居（市営・県営）本当に有難とうござ居ます。
- 様々な組織活動をしている事 1.グランドゴルフクラブ活動 2.老人クラブ活動 3.寺子屋活動 etc
- 自衛官OBの町内加入が多い。自衛官OBの自主協力が多い。
- 町内会は小さな町内会ですので、まとまりが良く親睦をはかる為の色々な行事（今はコロナの為中止になってますが）に若い方々がファミリーで参加してくれております。持ち家の方は会員になって下さっていますが貸家の方々も入会してくれればと思っております。
- 少世帯、少人数、高齢化ですがそれなりに住民同志が協力し合っている。
- 年に数回ある町内の公園・調整池の草刈において休日の早朝ですが、若い世代からお年寄まで町内環境向上の為、頑張ってくださいています。当日参加出来なくても別の日に草刈して下さったり、町内の皆さんの気持ちがあたたかいです。
- R3、3月に発足した町内会です。会員の方々は若い人（20～30代）が中心です。10世帯あまりの組織ですが、より良い町内会をめざし活動していきたいと思えます。
- 町内会の行事（花植え、草刈、その他）への参加者が比較的多い。（他町内会と比較して）町内の環境整備には協力的である。
- 少数ではあるが役員の皆さんが町内会の運営に骨を折っていただいている。今までのような町内会の運営は今後できなくなると考えています。理由は人材不足と若い世代の方たち、子育て、その他の事で町内会への参加は非常に難しい。今までがこうだったからこれからも努力し継続しようではなく、現状を時代の流れに立脚して考え、我が町内会は行政と協働し地域社会の繁栄に寄付して行きたい。
- 古間木川の草刈を行っている。

## 2. 調査結果について

### (10)その他

<問35> あなたの町内会の良いところや自慢など、この機会に行政に伝えたいことを教えてください。

### (3) 野辺地町 ※回答数「5組織／13組織中」

- 良いところは特にありません。
- 令和2年に会長となり、今まで町内会の活動を見直したため、原点にかえり、活動していきます。第1年度町内会規約の見直し。一人でも多くの町内会員が参加できる活動したいが、コロナ禍で活動したいけどできない活動が多い。一日も早くコロナがおわってほしい。
- いざと云う時、声を掛ければ会員は協力してくれる。
- 何事にも積極的に活動しています。しかし少子高齢化が進み活動内容が変わってきています。今出来る事を参加者全員が全力で頑張っています。
- 役員等は与えられた任期、仕事には忠実に参加・実行してくれています。私的には「絆」と「ボランティアと言うただ働き解消」を提言しています。今ある現状（地域の）を理解し、次世代への道標を作りたい。災害等には防災士としても対応して地域住民の安全、安心に取り組みたい。

## 2. 調査結果について

### (10)その他

<問35> あなたの町内会の良いところや自慢など、この機会に行政に伝えたいことを教えてください。

#### (4) 七戸町 ※回答数「9組織／60組織中」

- 行政に伝えたい町内会の問題。野良猫の排泄物による悪臭被害。町民の中には餌付けをしている方がおり野良猫が増えている。駆除する方法は？
- 高齢者にとっては町内会の役割も負担。
- Q22でも回答しましたが、この頃特に車からのゴミのポイ捨てが多く、田んぼや畑、更にはゴミが散乱し、非常に困っています。これは人としてのモラルの問題もありますが、考えられません。県条例で(町条例)定めるなどの対応が出来ないものかと思います。
- 会員数は年々少なくなっていますがまとまっている所はすばらしいことではないかと思います。
- 特になし。
- ありません。
- 常会、会員が48戸少ない集落なのでまとまりやすい所。
- 一人暮らしの冬場の除雪作業 ・町内会全体の草刈り(年に2回実施) 町道もふくめ
- 全戸加入(生活外者以外)

## 2. 調査結果について

### (10)その他

<問35> あなたの町内会の良いところや自慢など、この機会に行政に伝えたいことを教えてください。

### (5) 六戸町 ※回答数「8組織／41組織中」

- 特になし。
- 若い世代の居住者が多い。(が、無関心)
- 美化運動で町から無償配布をうけた花種を町内会全員で播種、植栽、手入れと参加をしてお元気でいる事を確認しながら景観を楽しんでいます。
- 団地内の路肩の草刈を班毎に作業してきれいな環境づくりに励んでいる。秋には年に一回若い町内会会員（20名程度）がボランティアで空き地の草刈をしている。
- 25日会：年令不問、月1回定例会開催 31日会：子供会父兄中心に月1回定例会開催（大人だけ）、他時々子供中心のBBQ
- 他の市町村の状況よくわかりませんが、六戸町は外灯（防犯灯）の設置や電気料金への半額補助とか公民館等での備品購入への補助があり助かってます。
- 町内会で行なう各行事、ボランティア活動への参加率が高いと思っています。
- 災害の少ない所



## 2. 調査結果について

### (10)その他

<問35> あなたの町内会の良いところや自慢など、この機会に行政に伝えたいことを教えてください。

#### (6) 横浜町 ※回答数「5組織／22組織中」

- 八幡神社のゆ縄づくり年2回（8月、12月）
- 小さい町内会であるため、全体を把握しやすい。何年も前からの知り合い世帯であることが最大限生かされています。
- 私共町内会では、5月から11月まで、「いきいき教室」という65歳以上の集会を5回開催しています。健康体操、お茶会、ゲーム大会などみなさんで楽しく過ごしています。また、11月から「ふれあいの居場所とよさか」という子供からお年寄りまでの集会を翌年の3月まで、月2回開催しています。健康体操からはじめ、子供たちとのふれあいなど1年通して顔合わせをしています。集会所、町内の道路など草刈り、草取り、花を植えてきれいにしています。
- 海、山、自然豊かな地域です。自然を大切に人と人とのつながりを大事に安全にさせる環境作りが大事だと思います。
- 若い世代がいろいろなアイデアを持ちよって考える。イベントなどたのしい町内会になりつつある。

## 2. 調査結果について

### (10)その他

〈問35〉あなたの町内会の良いところや自慢など、この機会に行政に伝えたいことを教えてください。

#### (7) 東北町 ※回答数「11組織／58組織中」

- 町内会も大きく、それぞれに役割を持たせてきましたが、高齢化が進み、なかなか意見交換をして、まとめてくれる人材が少なく、会員自体知らない人が増えてきています。
- 地区運動会、地区納涼祭などに若い役員(会員)がリーダーシップを取り、参加者をまとめている。
- ボランティア団体(子供会OBの男性)があり、地域内の除雪等困っていることに対応できています。
- 特になし。
- 全員加入率が高い。
- 特にありません。
- 内に役所(東北町支所)、小学及び中学校(東北小学校・東北中学校)があり役所から学校までの通学路(歩道)の連携を頻繁に行なっている。(防犯も兼ねて)
- 郷土芸能である●●●保存会等、1940年以前からの行事があるので、これをなんとか若い世代に引継ぎたいと思っている。●●●保存会は全戸、全員会員としている。
- ボランティア組織があること。(ex.除雪、除草など)
- 団地の人全員が町内会に加入している事です。
- 地域における住民同士の話し合いや、役員相互の理解で町内会への信頼関係が良好で、円滑な町内会活動を行なっている。

## 2. 調査結果について

### (10)その他

〈問35〉あなたの町内会の良いところや自慢など、この機会に行政に伝えたいことを教えてください。

#### (8) 六ヶ所村 ※回答数「7組織／20組織中」

- 特に除雪の問題ですが、町内会で除雪機を所有して(役員だけの使用)役場福祉課の声に対応しています。
- むつ小川原開発により、●●●地区より移転して、40年目を迎えようとしている当地域は、移転当初より地域のコミュニティを重視している中で、夏祭大会には130名による一同が盆踊りやカラオケなど老いも若きもが一夜を楽しく過ごしています。そして祭りの一大イベントはバーベキュー大会です。飲み放題、食べ放題と一気に盛り上がります。
- 町内会活動、例えば環境整備(本年春のごみ一掃運動)活動の際には、コロナ禍の中でも120人弱の参加者があり、また高齢者から年少者まで幅広い参加で、住民の地域活動・環境美化に対する意識の高さを感じられる。
- 各団体の参加によるイベント等が会員の参加意識を高め、地域の活性化が計っている。
- 良い町内会だと思います。
- 世代間交流を深める意味で、毎年グランドゴルフを開催している。小学生から高齢者まで、2020年はコロナで開催出来なかった。地域の中央を流れる川沿の草刈を毎年、会員総出で行なっている。地域的美観を保っている。
- 地域内の環境整備、施設管理等業務は可能な限り町内会に委託してもらい、町内会員が参加し業務を遂行する事により、連帯、協調、コミュニケーションが図られる。

## 2. 調査結果について

〈問35〉あなたの町内会の良いところや自慢など、この機会に行政に伝えたいことを教えてください。

### (9) おいらせ町 ※回答数「15組織／43組織中」

- 集金事業が多いので「町内会費と祭り寄付」以外は集金しないで町内会費より「赤十字・社協会費・赤緑の羽根」は一括拠出している。年間3000～4000円は軽減している。ゴミステーションに通勤途中で不法投棄し役員が困惑している。
- 町内会のHPを見て！
- 1.役場職員のレベルが低い！2.行政の対応が遅い！3.民間同様の人事評価制度の導入(町内会の良いところは特になし)
- 会員のまとまりが良い。
- 毎月町内会広報を発行し、町内会行事や役員の考えを発信している事。
- 少人数の町内会ですので、集会所の使用回数が今現在良好になっている。若い人の役員加入は現在、会社員・公務員で加入出来ない現状です。
- 4月から10月まで毎月環境整備を行なっている。8月に親睦の集いを行なっている。
- 私達の町内会は、おいらせ町の南西部(旧下田町)に位置し、奥入瀬川に接する●●●町内会です。下田村発祥の地であり歴史の深い町内会です。小学校、お寺、神社、こども園、学童保育等が有り、特に郷土芸能保存会(鶏舞、獅子舞)を組織して継承しおいらせ町無形文化財に指定されています。また、お盆には先祖供養の花火を上げます。町内会加入率も高く(ほぼ100%)いい町内会です。
- 昭和22年戦後中国満州からの引揚者(旧金木町出身者)と地元の二、三男対策として実施された。国営三本木原開拓国として津軽最南部の混在として開拓の村、パイオニアの村として苦難の道を歩んで来たことであります。現在は2代目が町内会活動を担っております。
- 町内会会員すべてが家族同然のつながりがある。
- 町内会だより「●●●」を平成23年6月から継続して毎月発行、令和3年7月号で120号となりました。
- 声かけ合うと向いてくれること。
- 執行部役員間の連携が良くとれていると思います。
- ①役員が積極的に奉仕の精神をもって献身的に活動している。②健全で建設的な意見交換ができています。③地域の環境整備、防犯・防災等安全安心に貢献している。④町役場職員と良好な関係を維持している。
- 当町のモデル地区として頑張っていきたい。